



# 小さな力をあわせて 大きな力に

～守ろう自分を！守ろう大切な人を！  
守ろう大切な郷土を！！～

埼玉県吉川松伏少年消防クラブ  
清水 万里



## 1 はじめに

吉川松伏少年消防クラブは、埼玉県の吉川市と松伏町にて構成された消防機関である「吉川松伏消防組合」により運営されています。

ここで、少し構成市町の紹介を……

まず、吉川市は西に中川、東に江戸川と2つの川に挟まれた地形を生かした文化が育まれ、なまずなどの川魚料理が有名です。都市化が進んだ現在でも、昔ながらの四季風景があちこちに見られます。

そして、松伏町は都心から30キロ圏内に位置しながらも、のどかな田園風景が広がり、緑豊かな自然が多く子育てには最適な町です。

## 2 吉川松伏少年消防クラブの発足

吉川松伏少年消防クラブは、平成24年4月1日、クラブ活動を通じて正しい知識と技能を習得し、生命と暮らしを守ることの大切さを学ぶとともに、防災教育を行うことで、家庭や地域の防災意識の高揚を図り、将来の地域防災の担い手となる人材育成を図ることを目的に吉川市内、松伏町内の小



平成24年度 結成式の様子

学5年生及び6年生の25名で発足しました。

## 3 クラブの活動内容

クラブの活動は原則として月に1回、年間行事に基づいた活動のほか、市や町の催し物などに参加し、火災予防に関する啓発活動などを行っています。

月に1回の活動は、テーマを決めて、消防・救急・救助・予防など多岐にわたる内容となっています。



救急訓練の様子（9月実施 親子で参加）

夏休み期間には、消防署にて1泊の宿泊学習を行い、着衣泳法を学ぶなど、様々な訓練とともに、夜は段ボールなどで寝床を確保するなど、避難所生活を疑似体験することで、団体生活環境下における相互協力的重要性について考えるきっかけ作りをしています。



可搬ポンプを使用している  
専門的な訓練

指導者としてクラブ員と接している訳ですが、活動を通じて、クラブ員ひとりひとりに自覚が芽生え、自信を持ち、仲間との絆を深め、チームワークや組織力が高まる様子を段階的に感じ、確かな成長を見ることができるとはとてもうれしく、やりがいがあると感じます。



夜は避難所体験（自分たちで寝床を確保）



救助訓練の様子（いつも以上に真剣!!）

#### 4 少年消防クラブ交流会 （全国大会）～いざ出陣!!～

平成 28 年 8 月、宮城県において開催された、少年消防クラブ交流会（全国大会）へ参加させていただきました。初めての参加で、緊張もあり、合同訓練の種目であるクラブ対抗リレー、障害物競走では、目標であった優勝には届かなかったものの、事前練習を通じてクラブ員の同士の団結を深め、また、全国から集まったクラブ員との交流を深めることができ、最高の思い出と、感

謝の気持ちを胸に、そして魅力あふれる東北グルメをお腹いっぱいにご帰路につきました。



宮城県での全国大会（緊張しています）

#### 5 クラブのこれから

発足して 5 年目を迎える訳ですが、現在のクラブ員は小学生が 11 名、準指導者である中学生が 12 名、合計 23 名となっています。今後は、活動内容や資機材の充実などを図り、興味、関心を持って取り組める、魅力ある組織づくりを行いクラブ員の確保に努めるとともに、準指導者がクラブ員の育成に携わることのできるような仕組みづくりや準指導者育成プログラムの作成などに取り組んでいきたいと考えています。

最後に、クラブ員には将来の地域防災を支える存在だけではなく、現在の地域防災を担う一人としてのプライドを持ち、ひとりひとりの力は小さくても、仲間と力を合わせて地域を守る気持ちを持って活動に励んでもらえたらと願っています。

